

Sports Induction Box

No. MGJ957/ MGJ957X
 取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクス

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
 TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

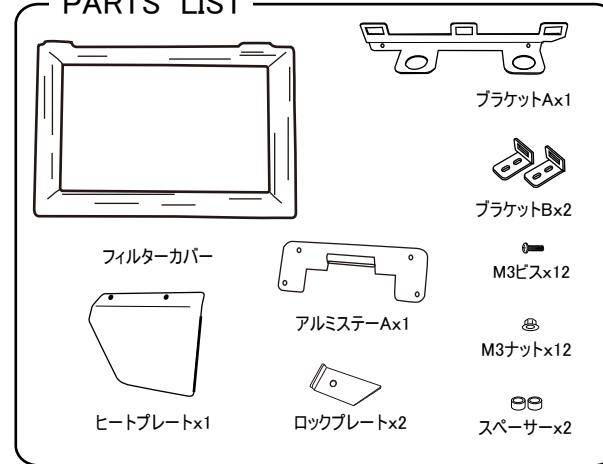
この度は、オートエクス スポーツインダクションボックスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：アクセラ (BMEFS)/アテンザ (GJEFP/GJEFW/GJ5FP/GJ5FW)/CX-5 (KEEFW/KEEAW/KE5FW/KE5AW)

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験がされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。

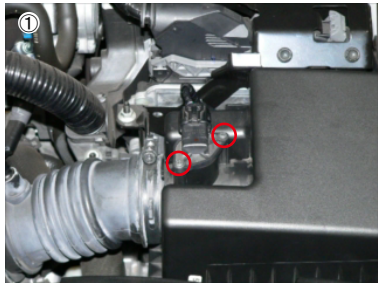
PARTS LIST



MGJ957Xは、K&Nフィルター付きです。

装着手順

注) ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取り付けてください。



① エアフローセンサーのビスを外し、**エアフローセンサーを取外します。**
 (カバーを外すとエンジン警告灯が点灯する場合があります。)



② エアークリーナーカバーを取外し、エレメントを取外します。



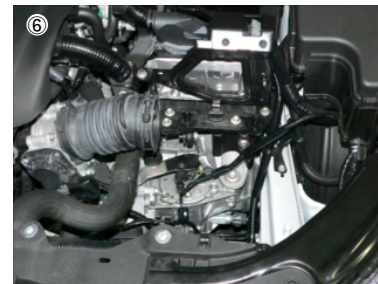
③ フレッシュエアダクトとエアークリーナーケースを取外します。



④ エアークリーナーケースから、フレッシュエアダクトを取外します。



⑤ エアークリーナーケースからマウンティングラバー2個とクリップ2個を取外します。

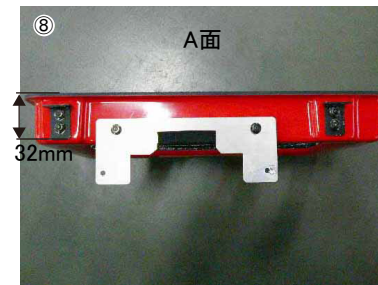


⑥ エアークリーナーケースを取外した状態。

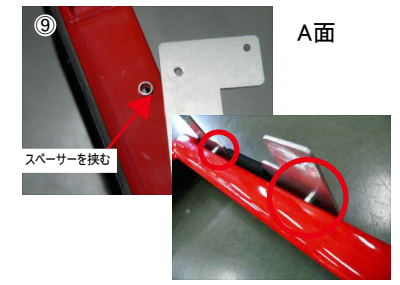


表面からの写真

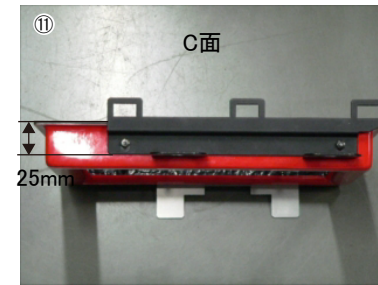
M3ビス、M3ナットを使用し、各面にヒートプレート、ブラケット、ステーを取付けます。(M3ビスは全て内側から入れてください)



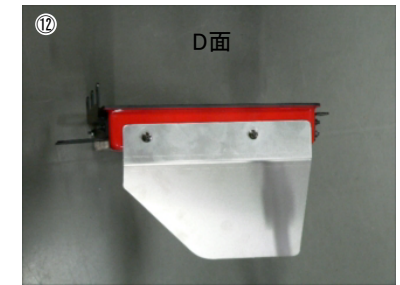
⑧ ブラケットBとアルミステーAを取付けます。(ブラケットBの基本取付位置は上図参照)



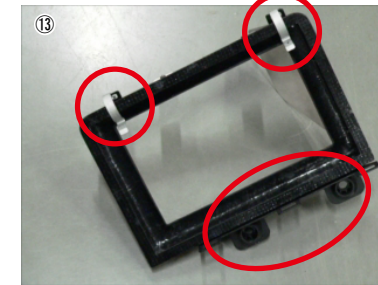
⑨ アルミステーAの下にスペーサーを挟みます。



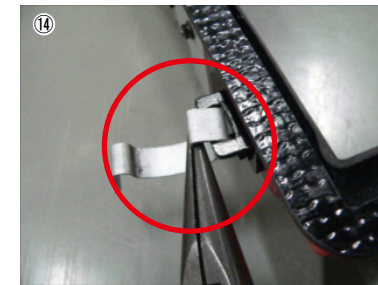
⑩ ブラケットAを取付けます。(ブラケットAの基本位置は上図を参照)



⑫ ヒートプレートを取付けます。



⑬ エアークリーナーケースから外したクリップとマウンティングラバーをステーに移植します。



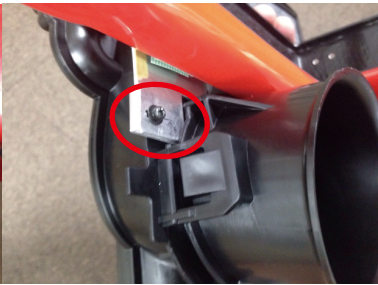
⑭ クリップが脱落しないようにプライマー等で潰します。 ※この段階で一度フィルター、フィルターカバーを組付けて、クリップのテンションを確認してください。



⑮ 写真のようにフレッシュエアダクトの溝にアルミステー B を挟むように乗せます。



⑯ ロックステーをビス、ナットで左右に取り付けます。



⑰ ロックステー裏面からの写真。



⑱ フィルターカバーを車両に配置します。



⑲ エアークリーナーカバー奥側のツメをブラケットAの穴に挿入してカバーを閉め、クリップ2箇所を固定します。



⑳ エアークリーナーカバー奥側のツメをブラケットAの穴に挿入してカバーを閉め、クリップ2箇所を固定します。



㉑ エアフローセンサーとエアホースを復元して、作業終了です。